

くす通信

第279号
2024年5月1日

国立病院機構熊本医療センター 発行

がん相談支援室より

がん相談支援センター について



「くす(樟)」の由来について

くす(樟)は常緑の広葉樹で、熊本城内に多く見られます。種々の精油成分を含み、良い香りがします。樟脳をはじめ色々な薬用成分が抽出されるなど有用な薬用樹でもあります。また、くすし(薬師)とは、医師のことを指し、くすしぶみ(薬師書)は医術に関する書物のことを言います。本誌はこの「くす」にあやかり、健康な生活を送るために情報を提供しております。お気軽にお読み下さい。

「がん相談支援センター」にご相談ができることの例

検査・治療・副作用

- 自分のがんや治療について詳しく知りたい
- 担当医から提案された以外の治療法がないか知りたい
- セカンドオピニオンを受けたいが、どこに行けばよいか

医療者とのコミュニケーション

- 担当医の説明が難しい
- 医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない
- 何を聞けばよいのかわからない

経済的負担や支援について

- 活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい
- 介護保険の手続きを知りたい
- 仕事や育児、家事のことで困っている

がんの予防や検診について

- がん検診はいつ、どこで受けられるか
- がん検診で再検査の通知がきて、不安でたまらない

療養生活の過ごし方

- 治療の副作用や合併症と上手に付き合いたい
- 自宅で療養したい

社会との関わり

- 病気について、職場や学校にどのように伝えればよいか
- 仕事を続けながらの治療はできるか

家族との関わり

- 家族にどう話していいかわからない
- 家族の悩みも相談したい

患者さんやご家族の心のこと

- 気持ちが落ち込んでつらい
- 思いを聞いてもらいたい

緩和ケア

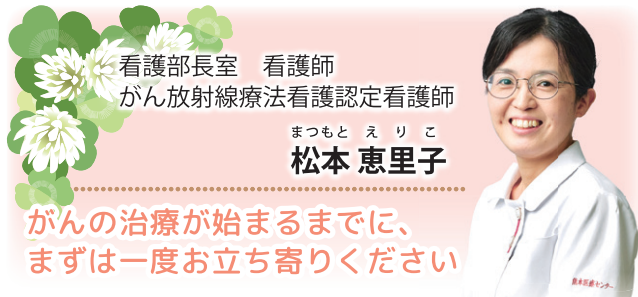
- 地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか
- 治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらよいか

出典：国立がん研究センターがん情報サービス 社会とがんシリーズ 001
がん相談支援センターにご相談ください

4階10番受付 がん相談支援センター

- がんの検査中・治療中・療養中の患者さま及びそのご家族、地域にお住まいの方は、どなたでもご利用いただけます。費用は無料です。
- 相談した内容が、相談者の同意なしに他の人に知られることもありませんし、お名前を告げずに相談することもできます。
- 医師に代わって診断・治療についてご提案することはできませんのでご注意ください。
- 受付時間：(平日) 9:00-16:30
- お電話でも相談をお受けいたします。

Tel : 096-353-6501 (代)



がんの治療が始まるまでに、
まずは一度お立ち寄りください

熊本医療センターでは、5月よりがんと診断された患者さま全員に、がん相談支援センターの場所を確認していただく取り組みをはじめました。がんと診断されたばかりの患者さまやご家族のかたは、多くの場合お気持ちが動揺されます。場所を確認された際に、必要であれば相談員にお話をお聞かせください。がんに関する詳しい看護師や、生活全般の困り事に対応するソーシャルワーカーが対応いたします。

中には、これからの生活のことや治療や療養にともなう心配事や不安を、誰かに相談することに抵抗があるかたもおられると思います。その場合は、場所の確認を行うだけでも構いません。これから先の治療や療養の途中で、お困りの際にご利用ください。



がん相談支援センター について

がん相談支援センター長
腫瘍内科部長

さかい たつのり
榮 達智



この「くす通信」を手にとられた方は、最近“がん”の診断を受けた方でしょうか？あるいはそのご家族、長年治療を頑張っておられる方も知れません。がんの診断を受けることはこれまでの生活を変えてしまう非常に重大な出来事です。

これまでの平穏な生活がどうなるのか考えると、いろんな不安がよぎるのは当然の事です。

- ・これまでの仕事を続けられるのかしら？
- ・高額な治療費を支払っていきけるだろうか？
- ・病気のことを子供たちにどう伝えよう？

病気の事だけでも心が痛いのに、こんなにたくさんの方に悩まされるなんて……。その悩みの解決策を一緒に考え、不安なく病気の療養ができる環境を提供したい。この考えは当院のスタッフ皆一致した意見です。それを実現できるきっかけ作り、これががん相談支援センターの役割であると考えています。

以前は、患者さま方は何の情報も無いまま病気との孤独な“闘い”を強いられてきました。現在インターネットでの情報収集は時に有用ですが、情報過多のため、時に患者さま方を迷子にしています。我々は信頼のおける偏りが無い情報を提供でき、がん拠点病院間でのネットワークで最新の情報も入手可能です。これから始まるがん治療・がんとの共存の期間を通じて、いつでも悩みを共有し、適切かつ正確な情報を基にした解決策を模

索する場でありたいと思っています。

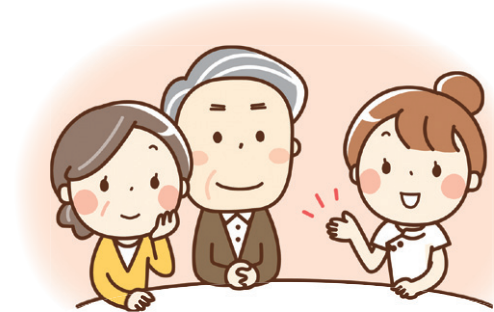
もし患者さま同士で実体験をもとに情報共有を試みたいというご希望があれば、

- ・がんピアおしゃべり相談室(がん経験カウンセラーとの少人数での語らい)
- ・二の丸がんサロン(講話と情報交換など)

のお手伝いもしていますのでご案内します。参加予約は不要です。

がん相談支援センターではソーシャルワーカー・看護師・医師など多くの職種が対応しており、きっとお役に立てると思います。身体や心の事など、我々のみでは解決できない事があれば、必要に応じ院内の緩和ケアチームや公認心理師、化学療法チームなどに繋ぎ、より専門的な対応を考える事が可能です。

我々がここで行っていることは、これからの治療や療養において診療科での治療と双壁をなす、要のひとつと言っても過言ではないと考えています。しかし場所をご存じなければ相談にもたどり着きません。相談には新たに費用はかかりませんので、告知を受け不安な時とは思いますが、**是非治療が始まる前に一度がん相談支援センターを訪れていただきたいと思います。**



国立病院機構熊本医療センター

- 診察日 月曜日～金曜日
- 休診日 土・日曜日及び祝日
年未年始(12月29日～翌年1月3日)
- 受付時間 8:15～11:00
〒860-0008 熊本市中央区二の丸1-5
TEL 096(353)6501(代表)
FAX 096(325)2519
H P <https://kumamoto.hosp.go.jp/>

※ 形成外科のみ受付は、水曜日以外の13:30～16:30となります。

※ 一部の科では、午後に予約診療を行っていますが、新患、予約のない方の午後診療は行っておりません。急患はいつでも受診できます。